

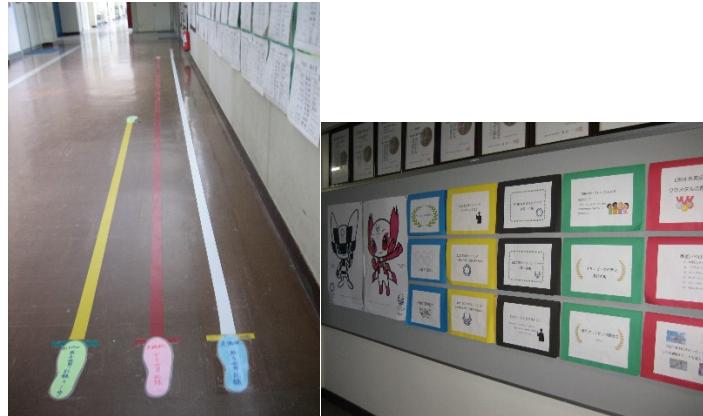
平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

1 実践テーマ	【 I V 】
2 実施対象者	福島市立蓬萊中学校 全学年297名 保護者30名（岩村明憲氏講演）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ） ② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	○東京オリンピック・パラリンピック競技全般及び、野球・ソフトボール競技の福島開催に対する生徒の理解と関心を高め、機運醸成を図る。
5 取組内容	<p>○オリンピック出場経験はないものの、日米プロ野球界で高い実績があり、ワールドベースボールクラシックにおいて日本代表として活躍した現「福島レッドホープス」監督の岩村明憲氏を講師に招いた。ご自身の様々な経験を紹介していただきながら、野球競技のおもしろさ、世界で戦うことの厳しさ、オリンピック野球・ソフトボール競技が福島で開催される意義等について語っていただいた。</p> <p>○岩村氏の講演の事前学習として、本校教諭を講師に、野球・ソフトボール競技福島開催決定の経緯、岩村氏のこれまでの活躍と監督としての活動について学ぶ時間をとるとともに、岩村氏に関わる資料を掲示した。</p> <p>○保健体育科教諭が、東京オリンピック・パラリンピックに関するクイズ形式の掲示や、陸上競技走り幅跳び・走り高跳びの世界記録が実感できる廊下壁面・床面の掲示を行った。</p> <p>○その他、福島大学で開催されたオリンピック・パラリンピックイベントにパネリストとして生徒2名が参加した。</p>

	
	
6 主な成果	<p>○岩村明憲氏の講演からは、世界と戦うための心構えや、苦しいことに耐えて努力することで自分自身が成長し成果を得られること、地元でオリンピックが開催されることは世界各地から高い意識と優れた技能をもった選手が集まる貴重な機会であることを学び、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。</p> <p>○生徒からは、自分も実際に野球・ソフトボール競技を見たい、大会が盛り上がるに何か貢献したい、世界・全国から集まる人々と関わりもてなしたい、福島市によさを世界にアピールしたいというような感想が得られ、地元での競技の開催に対する興味・関心の高まりが見られた。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>○本校が立地する地域は郊外の住宅地であり、本事業との関連を図るべき特段の社会的条件が見当たらないため、オリンピック・パラリンピックやスポーツそのものに対する生徒の興味・関心の向上に主眼を置くこととし、本校部活動顧問の人脈を生かして講師を招聘した。</p>
8 主な課題等	<p>○地元で開催されることから野球・ソフトボールにしぼったが、競技の特性もあり、競技そのものへの関心を高める体験活動等を設けられなかった。生徒が体を使って競技の楽しさおもしろさを味わえる機会をつくれればなおよかった。</p> <p>○地元開催とはいえ、競技会場となる球場が生徒の日常生活エリアから比較的遠いため、地元開催についてイメージを高めさせることが難しかった。</p> <p>○今回は、本校部活動顧問の人脈を駆使して講師を招聘したが、著名な講師を招くのは、日時の調整や経費においても難しいと感じた。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>○詳細は未定であるが、保健体育科の学習内容と関連させてスポーツに対する興味・関心の向上や共生社会に対する理解を図るなどして、オリンピック地元開催への機運の醸成をさらに進める取り組みを構想している。</p>